

リアルな体感で就活の熱量を上げる、 キャリアサポートの真価

國學院大學

Kokugakuin University

モチベーションに火をつける、
キャリアサポートの仕掛け

「学生が最高のパフォーマンスを発揮できるよう、まずはモチベーションに火をつける機会や場を次々と提供していく。それが本学のキャリアサポートです」。國學院大學学生事務部長・藤形正俊氏はそう力を込める。民間企業を経て大学に転身した藤形氏が、就職支援の現場で学生たちと向き合う中で見えてきたものがあるという。それはパブル崩壊後に生まれた彼らが抱く「働くこと」へのネガティブなイメージだ。藤形氏は次のように説く。「働く現場に行けば、とてつもないバイタリティや使命感を持って仕事に打ち込む、やる気の塊のような職業人が必ずいるものです。しかし、実際に体感す

る機会がなければ、そんな人がいることすら学生は想像もつきません。後ろ向きの姿勢を変えるために、リアルな情報にふれる場が、キャリアサポートには欠かせないのです」

優良企業との重要な「接点」となる『企業セミナー』

そこで國學院大學のキャリアサポートでは「リアル」をキーワードに、就活生のモチベーションを高める仕掛けを数多く用意している。そのひとつが、優良企業と学生との「接点」と位置付ける『企業セミナー』だ。各業界のトップ企業の担当者を招き、毎年秋の2カ月間、オンラインで開催する。2021年度も大手総合建設企業やIT情報サービス企業など、多彩な顔ぶれの60社が登場

し、延べ3394名の学生が参加した。例えばBtoB業界は、大規模事業を手掛ける世界的な優良企業がひしめく業界でありながらも、学生にはいまひとつ馴染みが薄い。そこで同セミナーでは、BtoBの現場を熟知する企業担当者によるビジネスの醍醐味や最新動向などを縦横無尽に語りつもらう。こうしたリアルな声を通じて学生たちの知的好奇心をかき立て、業界・企業選びにおける視野を広げさせているのである。

あわせて力を入れるのが、企業や働く人のリアルな姿にふれるインターンシップへの参加促進だ。同学では1人あたり20社以上のインターンシップ参加を呼びかけている。「就活がネガティブからポジティブに変わるのには、目標ができた瞬間です。その気づきの場こそインターンシップで



(左上) 学内のキャリアサポート課には、毎年秋になると「内定者アドバイザー」が日替わりで常駐。IT、金融、商社といった人気業界を中心に内定を得た4年生約30名が、オンラインと対面の両方で学生目線のアドバイスなどを行っている。
(右上) 就活のポイントや先輩のリアルな就活体験記を集めた「就活パーフェクト手帳」、優良企業を網羅した「企業大研究」などを毎年刊行。就活生のバイブルとなっている。
(左下) ナビサイト担当者による「オンラインガイダンス」の様子。

“自ら動きたくなる就職活動”を掲げて就活生の意識改革を推し進めてきた國學院大學でいま、大学独自のキャリアサポートによる成果が出てきている。同学学生事務部長・藤形正俊氏に、その背景と戦略について伺った。

取材・文／酒井撰

難関試験突破を徹底サポート！

独自のキャリアプログラム K-PLAS(ケー・プラス)

▶ 将来を見据えた2コース 国家公務員総合職コース 公認会計士コース

無理なくモチベーションを継続できる独自の3ステップ方式で、学生の目標達成をバックアップします。

■ 公認会計士コースの場合



K-PLAS受講生の声

令和3年度
公認会計士試験に合格



井上大希さん

経済学部 経済学科 4年
横浜市立東高等学校 卒業

K-PLASのバックアップ体制のおかげで、高いモチベーションを継続しながら勉強に打ち込むことができました。さらに、奨学金制度による手厚い支援があることも励みに。國學院大學での4年間を通じて、将来の可能性が大きく広がったと、感じています。

あり、数多く参加した学生の方が、自分が望む企業に辿り着く可能性が高まります。これはコロナ禍でも変わらない基本です。逆に多くがオンライン開催になったことで参加へのハードルが下がり、参加しやすい環境になったといえるでしょう」

一方、毎年高い人気を博してきた金融企業の支店見学会や建設現場の見学会といった働く現場に足を運ぶ企画も、現在は規模を縮小しながらもコンスタントに続けている。

企業との太いパイプも強み 独自のデータブックを刊行

さらに、これらキャリアサポートの屋台骨を支えているのが、7年間かけて構築してきた企業との太いパイプである。同学では、就職支援担当の職員が一社一社訪問して調べた情報を基に、独自基準で絞った優良企業約240社を紹介するデータブックを2015年から毎年発行している。この制作のために、職員が年に2度各社を訪ねる中で強化してきた企業との接点が、大きな強みとなっているのだ。二部の業界を除けば多くの企業は依然として高い採用意欲があります。社会状況の危うさの中で、採用行動で悩んでいるのは企業側も同じです。私たちは各社との

Information

國學院大學



1882(明治15)年創立。大学令により1920(大正9)年に大学に昇格し、私立大学として日本で最初に認可された8大学のうちの一つ。2022年には創立140周年を迎える。キャンパスは二つあり、渋谷キャンパスには文学部・神道文化学部・法学部・経済学部の4学部を擁する。横浜たまプラーザキャンパスには、人間開発学部と観光まちづくり学部(2022年4月設置)の2学部を擁する。

● DATA

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

TEL 03-5466-0141 (入学課)

URL <https://www.keio.ac.jp/admission>

豊富なコミュニケーションで得た最新情報を学生につないで、適切な支援ができる体制を整えています」

難関試験突破を目指すキャリアプログラムから合格者を輩出

モチベーションを高める仕掛けは、国家公務員総合職と公認会計士という二つの難関試験突破を4年間かけてバックアップするキャリアプログラム『K-PLAS(ケー・プラス)』でも活かされている。「その職業に絶対に対に就きたいという熱意と勉強を続ける意欲を、長期間にわたって維持するのは並大抵のことではありません。そこでK-PLASでは、資格

試験の難易度を段階的に上げていくように中期目標を設定した、3ステップ方式のモチベーションマネジメントを徹底しています」。加えて奨学金制度も用意し、手厚い支援を図る。こうして国家公務員総合職試験では2018年度から4年連続で最終合格者を輩出。公認会計士試験では2021年度に現役合格者1名を出すなど、今後の躍進に期待が膨らむ。また、就活の早期化を見据えた初年次向けのサポート体制もより拡充する予定だ。「モチベーションが高まる好循環が、確かにでき上がりがつつある。満足な表情で内定の報告に来る4年生と話すたびに、そう実感しています」